

都市再生整備計画 事後評価シート  
八幡中央地区

平成23年3月

岐阜県郡上市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	郡上市	地区名	八幡中央地区			面積	100ha					
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	1,390百万円	国費率	0.4							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
	基幹事業		道路:郡上市市民病院アクセス道 / 高質空間形成施設:新町城南町線、案内看板等修景整備											
	提案事業		地域創造支援事業:建物修景整備、八幡城石垣改修、水利用施設整備、まちづくり活性化事業 / 事業活用調査:歴史的資源調査 / まちづくり活動推進事業:空家活用実験、市民フォーラム開催											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	①道路:山本殿町線 ②道路:新栄町大正町線 ③地域生活基盤施設:市民病院アクセス道ポケットパーク	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		提案事業	地域創造支援事業:歴史的建造物修景整備	事業実施時期の見直しをかけたため、事業採択期間内での整備を見送った。			まちづくりの目標である「まちの魅力向上」「生活環境の向上」に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。							
	新たに追加した事業	基幹事業	①高質空間形成施設(稲荷区内1,2,3号線他) ②街なみ環境整備事業(案内板、建物修景整備)	①地区内の歩行者への交通安全並びに来街者の回遊動線道路として、町並みを引き立てるような道路及び老朽化した水路を整備し、生活道路の改善を行うため。 ②関連事業である街なみ環境整備事業の、都市再生整備計画(基幹事業)への移行。			①まちづくりの目標である「まちの魅力向上」「生活環境の向上」に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。 ②影響なし							
提案事業		事業活用調査:事業効果分析調査	事業評価の作業が円滑かつ確実に進められるよう、事後評価に関わる各評価項目の計測又は確認の時期、主体、手法等の検討を行う。			影響なし								
交付期間の変更	当初	-	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期				
	指標1	景観形成建築物の指定件数	件	0	H16	5	H22	0	0	×	あり なし	●	地区の歴史的環境の価値の明確化と周知・PR、歴史的環境を魅力化する道路・建物修景等により、歴史的資源の保存活用に係る取組みが促進され、歴史的環境への関心の高まりは見られたが、指標とした「景観形成建築物の指定」には至っていない。	平成23年4月
	指標2	主要観光施設入込み客数	人/年	270,000	H16	290,000	H22	325,577	351,281	○	あり なし	●	八幡城石垣改修をはじめ、案内板設置や空家活用による観光拠点整備、道路・建物修景などによる歴史的環境の魅力化が進んでおり、観光客が増加している。	平成23年4月
指標3	まちづくりボランティア登録者数	人	0	H16	50	H22	0	0	×	あり なし	●	まちづくり活性化事業、歴史的資源調査、空家活用実験、景観フォーラムを通じ、地区の歴史的環境やまちづくりに対する関心が高まっているものの、「ボランティア登録制度」が整備されていないこと等もあり、登録者数の増加には至っていない。	平成23年4月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期				
	その他の数値指標1	町民協定を締結する歴史的建築物の棟数	件	775	H17	-	-	920	920	/	/	/	地区の歴史的環境の価値を明らかにするとともに、その価値の周知・PRや、歴史的環境を魅力化する道路・建物修景等の実施により、市民の認識が高まったことで、町民協定の締結区域に含まれる町家等の歴史的建築物の棟数が増加した。	平成23年4月
	その他の数値指標2	郡上八幡市民フォーラム(仮称)の会員数	人	0	H17	-	-	6	244	/	/	/	まちづくり活性化事業、歴史的資源調査、空家活用実験、景観フォーラムを通じ、地区の歴史的環境やまちづくりに対する関心が高まったことで、市民団体と行政による「郡上八幡市民フォーラム(仮称)」が組織され、継続されている。	平成23年4月
その他の数値指標3	道路整備等による生活環境全体の向上	%	-	-	-	-	-	58.6	/	/	/	道路・水路の改修整備により、路面の水はけや歩きやすさといった公共空間の環境向上、通り全体の雰囲気の魅力化が進み、生活環境全体が向上したという認識が広がった。	平成23年4月	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「まちなみづくり町民協定」の範囲拡大や、「伝統的建造物群保存地区」の導入に向けた保存対策調査がはじまる等、歴史的資源や水資源への関心や「本物」としての価値への認識、歴史・水資源を活かしたまちづくりに対する意識が高まっている。</li> <li>民間による町家等の修景・活用や、夜間の屋外照明によるまちなみ演出、板塀プロジェクト等、歴史的環境の魅力化に資するモデル的取組みが広がり始めている。</li> <li>「郡上市景観計画」の策定、「伝統的建造物群保存地区」や「歴史的風致維持向上計画」を目指した調査検討など、行政による歴史的環境を活かしたまちづくりの検討が始まっている。</li> <li>道路修景や水施設整備を通じ、通行の利便性・安全性向上、水の流れの改善、町並みの魅力化といった、生活環境の向上と景観形成とが共存する市街地環境の形成が進んでいる(アンケート調査より)。</li> </ul>													
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等							
	モニタリング	指標に係わるバックデータによるモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●							
	住民参加プロセス	①学習会・市民向けフォーラムの開催 ②水資源に係るワークショップの開催 ③空家の歴史的建造物の活用実験イベントの開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●							
	持続的なまちづくり体制の構築	①まちづくりの推進体制の確立(郡上八幡市民フォーラム(仮称)の立ち上げ)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●							

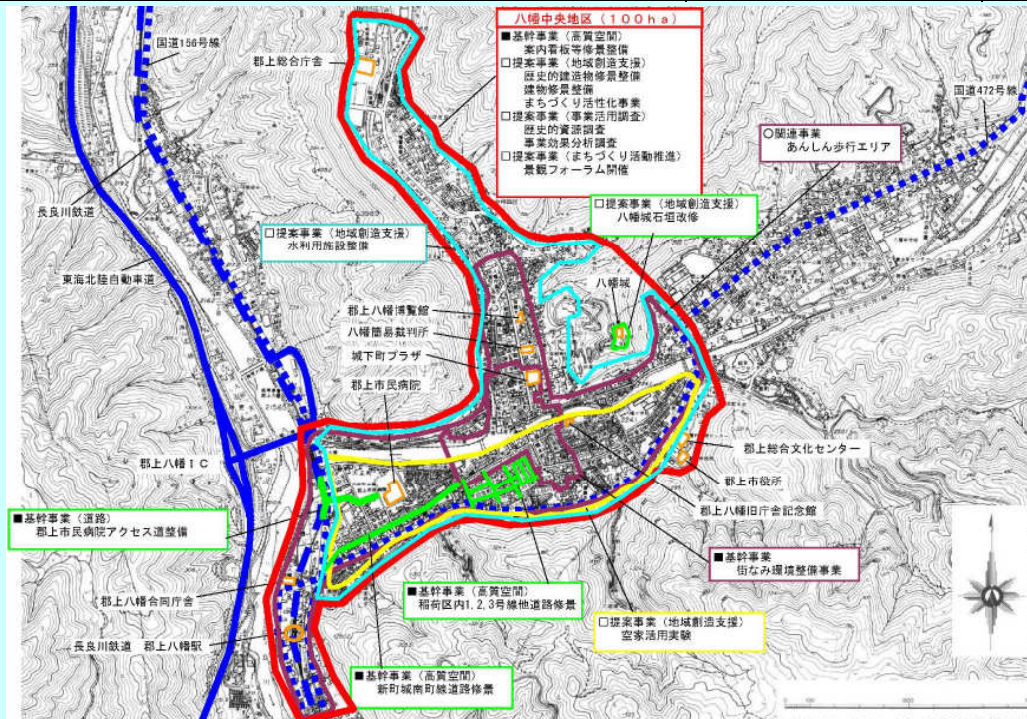
## 様式2-2 地区の概要

### 八幡中央地区(岐阜県郡上市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標：歴史と水が暮らしの中でいきいきと息づき、うるおいとふれあいのあるまちづくり 目標1：町並み等の歴史的資源や水資源の「本物」としての価値を再認識し、その価値を活かした保存活用により、住環境をはじめとしたまちの魅力向上を図る。 目標2：歴史的資源や水辺資源に深い関心を持つ来街者を増やし地域文化の情報発信を図ると共に、周遊拠点としての役割を強化し市内各地の交流人口を増やす。 目標3：道路整備等により、防災や利便性などの生活環境全体の向上を図る。	景観形成建築物の指定件数	単位：件	0 H16	5 H22	0 H22
	町民協定を締結する歴史的建築物の棟数	単位：件	775 H17		920 H22
	主要観光施設入込み客数	単位：人／年	270,000 H16	290,000 H22	351,281 H22
	まちづくりボランティア登録者数	単位：人	0 H16	50 H22	0 H22
	郡上八幡市民フォーラム(仮称)の会員数	単位：人	0 H17		244 H22
	道路整備等による生活環境全体の向上	単位：%	-	-	58.6 H22



■基幹事業(高質空間)



□提案事業(まちづくり活動推進)  
景観フォーラム開催(フォーラム開催風景)



□提案事業(地域創造支援)

まちの課題の変化	道路・水利用施設等の公共施設の整備・改修等によって、利便性や住環境など居住地としての魅力が高まったが、地区の防災性向上に資する取組みはまだ十分実施されていない。都市再生整備計画の実施で、八幡中央地区の魅力が高まり、八幡中央地区の集客力は高まったものの、市内他地域との連携方策の検討が十分進んでおらず、当該地区を拠点とした周遊観光の活発化には結びついていない。観光客数が増加し、回遊範囲が拡大してきたため、地区の交通混雑の緩和や安全で快適な移動環境の確保が課題となっている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	歴史・水資源の価値に関する認識をさらに深め、その保存活用に係る市民の取り組みを促進する。歴史的建造物の活用や水利用施設の整備・改修など、価値を活かした保存活用事例を増やす。そのための支援策の充実、制度化を図る。来街者が歴史・水資源の価値に触れることができる場所の整備や、来街者に対して、歴史・水資源の価値を伝えるソフト事業を推進する。地区の歴史的環境の特性を損なわない防災性向上の取組みを検討・推進する。地区の歴史・文化や人々の暮らしの視点を重視し、道路や水路等の生活環境に係る基盤の整備、維持管理を継続する。郡上市全域の歴史文化資源を総合的に把握し、活用の方向性を検討する。市内各地域との情報共有や、ソフト面での連携を進める。来街者の滞在時間の長期化を促進する取組みを検討する。